



“Catalog Pocket”
でも配信しています



あげまつ



令和 7 年 3 月末現在
世帯 1,952 戸(ー 21)
男 1,898 人(ー 21)
女 1,977 人(ー 19)
計 3,875 人(ー 40)

美林ちゃん

町政舵取り役の交代 村田町政がスタート

4 月 4 日 (金) の任期満了をもって、2 期 8 年にわたり町政の舵取り役として重責を担っていただいた大屋誠前町長が退任されました。大変お疲れ様でした。

4 月 7 日 (月) には、3 月 23 日 (日) に行われた任期満了に伴う町長選挙で当選された村田広司新町長が初登庁し、村田町政がスタートしました。

新町長を迎え、上松町の新たな発展が期待されます。 (関連記事 8P)

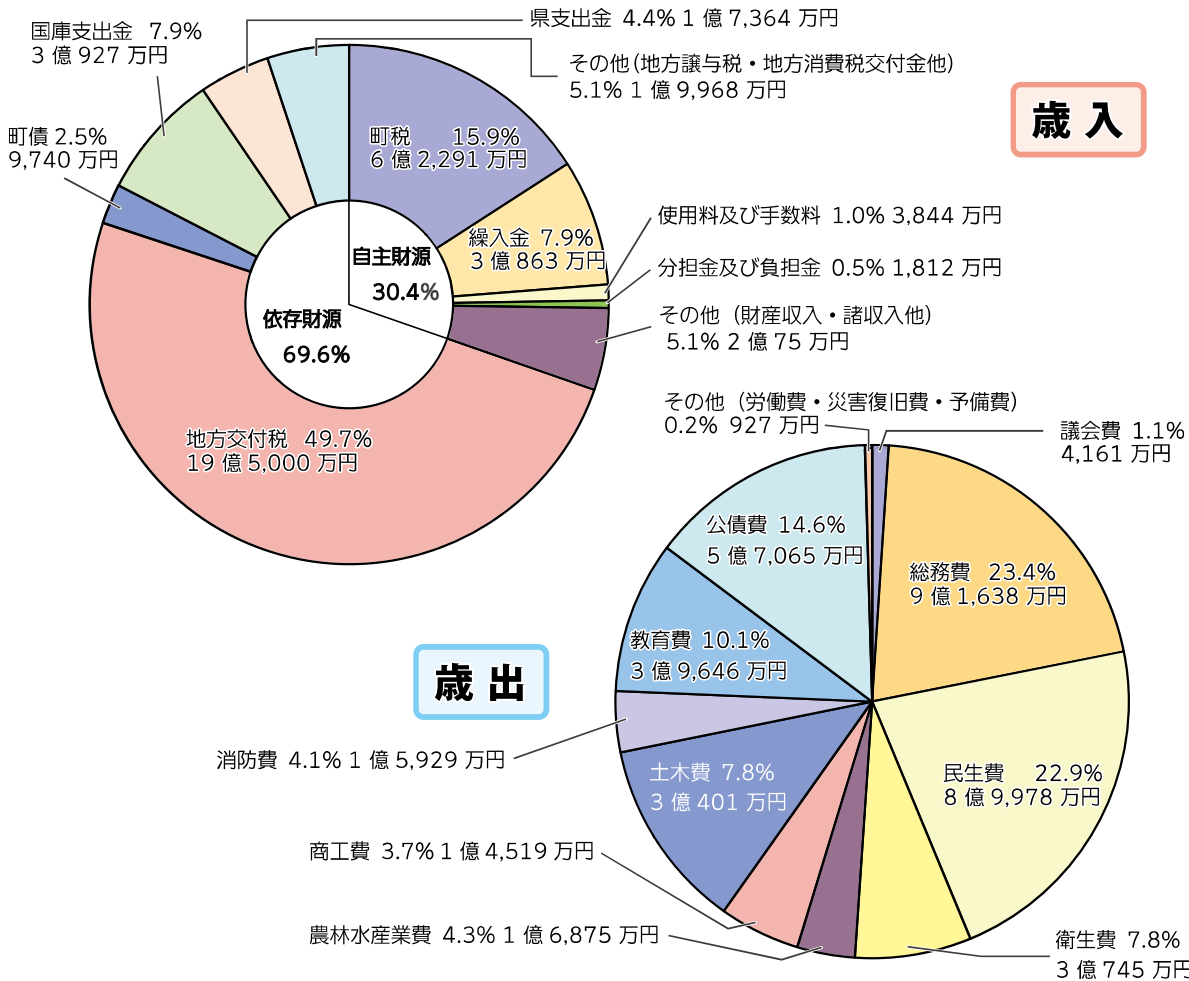


太郎ちゃん

令和七年度 上松町の当初予算

一般会計予算総額 39 億 1,884 万円

歳入



歳出

令和七年度当初予算は、町長の任期満了に伴い骨格予算となり、一般会計予算の総額は三九億一、八八四万円、前年度に比べ四・六%の減となりました。

【歳入予算】

町税は、総額六億二、二九一万円(前年比四・一%増)を見込み、住民税について法人分の増により前年比九・六%増の二億六、一九二万円となりました。

歳入の四九・七%を占める地方交付税は、前年比一%増の一九億五、〇〇〇万円を見込みました。

基金からの繰入金は、前年比四・三%減の三億八六三万円を計上しました。

町債は、骨格予算のため投資的経費の計上を抑制したことから、橋梁長寿命化修繕事業に三、〇八〇万円、移住定住、子育て支援関連事業等に四、五九〇万円を計上し、前年比七七・二%の減となりました。

【歳出予算】

歳出は、全国で進められている各種行政システムの標準化事業として一億四四九万円

橋梁長寿命化修繕事業に七、八〇七万円、小中学校で使用しているGIGAスクール端末更新事業に一、九二一万円、長野県衛生系防災行政無線更新事業に一、六七四万円、木工シェア工房整備事業に一、五四〇万円、本年十月に開始予定の広域連携コミュニケーションバス幹線運行事業に一、五八〇万円、老朽化した買物支援車両更新事業に四四〇万円をそれぞれ計上しました。

また、新規事業として、令和六年に制度化した奨学金返済補助金に一〇〇万円、骨検診事業に二六万円を計上しました。

区 分	予算額	増減率
個人住民税	181,264	1.1
法人住民税	80,653	35.0
固定資産税	322,088	0.9
軽自動車税	16,902	△ 2.6
たばこ税	21,949	△ 2.9
入湯税	52	-

町税の内訳 (単位：千円、%)

令和7年度の新たな事業（抜粋）

○買物支援業	（買物支援車両を更新します）	4,397 千円
○移住・定住促進事業	（奨学金返済補助金を支給します ※要件あり）	1,000 千円
○地域再生制度活用事業	（木工シェア工房を整備します）	15,400 千円
○コミュニティ交通事業	（広域連携により幹線の運行を開始します）	15,803 千円
○予防事業	（骨検診を開始します）	264 千円
	（特定検診にヘルスサポートラボツールを導入します）	93 千円
○河川管理事業	（倉本地区大沢の河畔林整備を行います）	5,000 千円
○上松小学校管理事業	（相撲場屋根の裏板張替を行います）	1,430 千円
○上松小学校情報環境整備事業	（G I G Aスクール端末を更新します）	11,616 千円
○上松中学校情報環境整備事業	（同 上）	7,590 千円

一般会計の主な事業

○総務費関係事業		○商工費関係事業	
買物支援事業	8,961 千円	商工振興事業	16,187 千円
地域おこし協力隊事業	17,635 千円	観光振興事業	67,293 千円
移住・定住促進事業	20,295 千円	○土木費関係事業	
コミュニティ交通事業	49,937 千円	道路施設修繕事業	4,510 千円
○民生費関係事業		橋梁長寿命化修繕事業	78,070 千円
障がい者自立支援事業	165,304 千円	河川管理事業	6,918 千円
老人福祉総務事業	133,753 千円	○消防費関係事業	
地域包括支援センター事業	22,628 千円	常備消防事業	103,644 千円
B & G 子ども第三の居場所運営事業	9,800 千円	非常備消防事業	23,168 千円
保育園事業	20,742 千円	防災対策事業	22,345 千円
○衛生費関係事業		○教育費関係事業	
清掃総務事業	113,050 千円	公民館事業	14,559 千円
予防事業	19,931 千円	社会体育事業	16,724 千円
母子衛生事業	8,467 千円	町民プール事業	8,818 千円
○農林水産業費関係事業		上松小学校情報環境整備事業	11,616 千円
吉野小水力発電事業	14,850 千円	上松小学校教育振興事業	15,645 千円
林業振興事業	24,711 千円	上松中学校情報環境整備事業	7,590 千円
有害鳥獣駆除事業	14,921 千円	上松中学校教育振興事業	19,800 千円
林道一般事業	26,627 千円	学校給食事業	54,760 千円

特 別 会 計

【国民健康保険特別会計】

一人当たり医療費が増加傾向にあり保険給付費が増えて来ていることや県に納める国保事業費納付金の増などに伴い予算額が増加しております。令和7年度の国保税率は据え置きとなります。

保険運営費用の増加要因となる生活習慣病の重度化を防ぐため、メタボリックシンドローム割合の減少、高血圧の改善と疾病の早期発見、早期治療を目指します。

【後期高齢者医療特別会計】

被保険者数は減少傾向にありますが、団塊の世代以降の人口が多い年齢層の後期高齢者医療加入により医療費の増額が見込まれることから長野県後期高齢者医療広域連合への納付金が増額となっております。糖尿病予防、生活習慣病予防を実施します。フレイル予防の実施により筋骨格疾患への移行の減少を目指します。

令和7年度 特別会計予算

（単位：千円、％）

会 計 名	予算額	増減率
国民健康保険特別会計	432,674	8.9
後期高齢者医療特別会計	87,889	9.0
奨 学 金 特 別 会 計	4,871	1.14

水道・下水道事業会計

【水道事業会計】

令和7年度は、給水戸数 1,813 戸、年間総給水量 388,165m³を見込みました。

令和7年度は老朽機器の更新等を計画しております。

令和7年度は前年度と比較し、予定事業量が減少したため、資本的収入・支出はともに減少見込となりました。

【下水道事業会計】

令和7年度は、接続戸数 1,200 戸、年間総排水量 275,000m³を見込みました。

令和7年度はストックマネジメント計画の見直し、公共下水道事業計画の見直し、浄化センター返送汚泥ポンプの分解調査等を計画しております。

令和7年度は前年度と比較し、予定事業量が減少したため、資本的収入・支出はともに減少見込となりました。

令和7年度 水道・下水道事業会計予算

(単位：千円、%)

会計名	区分	予算額	増減率
水道事業 会計	収益的収入	231,477	0.5
	収益的支出	231,224	0.5
	資本的収入	52,832	△ 58.8
	資本的支出	89,993	△ 45.6
下水道事業 会計	収益的収入	176,289	△ 7.6
	収益的支出	175,971	△ 7.6
	資本的収入	74,860	△ 23.0
	資本的支出	131,003	△ 16.9

各企業様から企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

◆企業版ふるさと納税とは

企業が国の認定を受けた自治体の取り組む地方創生事業に対して寄附を行った場合に、税制上の優遇措置を受けることが出来る制度です。上松町では、令和3年11月に認定された「上松町まち・ひと・しごと創生推進事業」推進のため、町外企業様からの寄附受付及び、いただいた寄附の積み立てを行っています。

◆令和6年度中に御寄附をいただいた企業様

今年度、当町の事業に御賛同いただいた3社の企業様よりご寄附を頂戴しました。

(1) タレントスクエア株式会社 様

- 所在地：東京都港区
- 寄附日：令和6年8月16日
- 寄附額： 100,000円

(2) フルタイムシステム株式会社 様

(令和4年度から3度目のご寄附)

- 所在地：東京都千代田区
- 寄附日：令和7年3月13日
- 寄附額： 1,500,000円
- (累計額：4,000,000円)

(3) カナデビアE&E株式会社 様

(旧：エスエヌ環境テクノロジー株式会社様)

(令和3年度より4度目のご寄附)

- 所在地：大阪府港区
- 寄附日：令和7年3月31日
- 寄附額： 300,000円
- (累計額：1,200,000円)



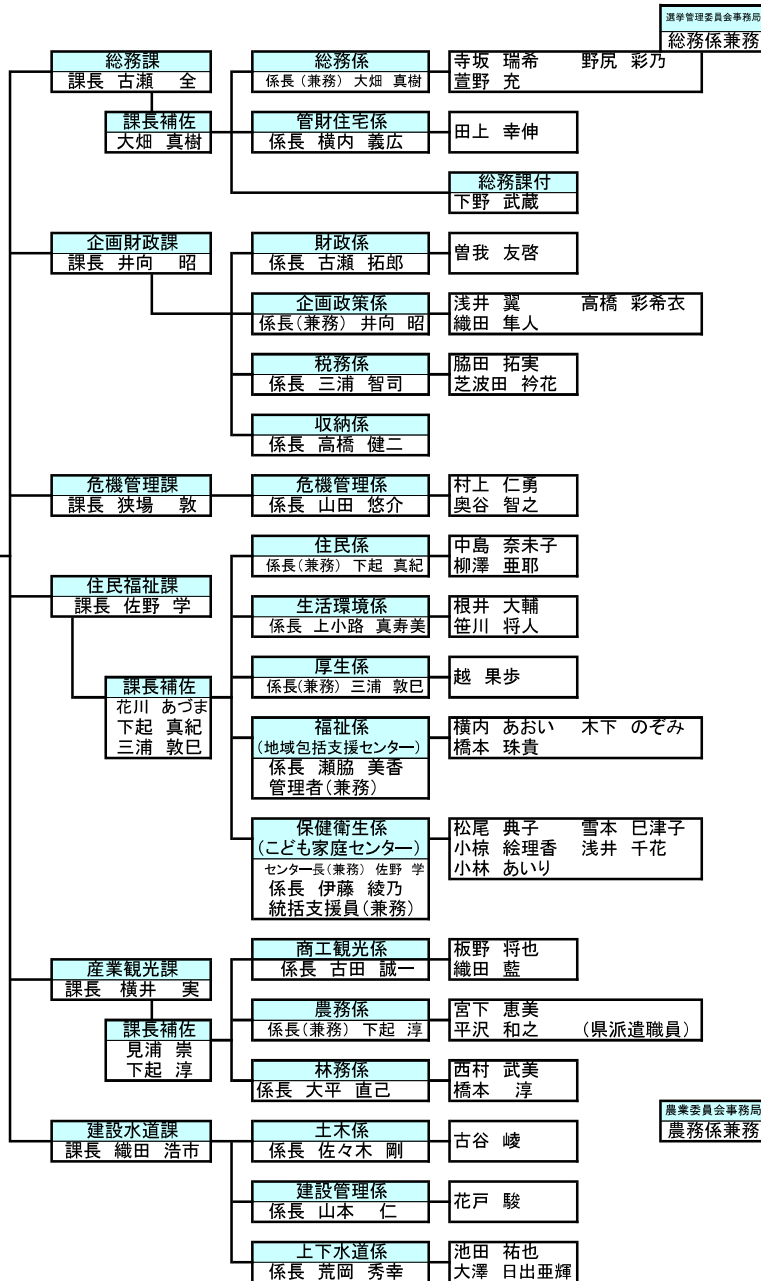
フルタイムシステム株式会社
副社長 原 周平 様にお越しいただき、
直接ご寄附を頂戴いたしました(令和7年3月)

ご寄附をいただいた企業様へ心より感謝申し上げます、当事業実現に向け、今後も努めて参ります。

上松町機構図・職員配置図

町長
村田 広司

副町長



令和7年4月1日現在

条例・規則、庶務、人事管理
議会招集、交通災害共済、選挙

財産管理、駐車場管理、
公用自動車管理
町営住宅入居・管理

財政、予算、入札

まちづくり、総合計画、過疎計画
企業誘致、友好都市、景観
少子化対策、移住・交流
町民税、固定資産税
軽自動車税、国保税、諸税、公図

町税の収納、滞納整理
納税証明
消防・防災・防犯・交通安全
統計、広報、CATV、情報無線
情報政策、情報管理

戸籍、諸証明
マイナンバーカード

清掃、生活環境、公共交通
エネルギー政策、消費者行政

国民健康保険、国民年金
後期高齢者医療
ひのきの里総合文化センター
社会福祉、生活保護
民生委員、日赤、介護相談
地域包括支援センター

健康管理、保健予防
健康増進センター
こども家庭センター

商工振興、企業振興、観光開発
自然公園、森林セラピー、温泉協会
観光情報

農業振興、山村振興、畜産
ほ場整備、農道、農業委員会

林業振興、鳥獣保護
保安林、林業施設、林道

町道、町道用地、交通安全施設
町営住宅建設
国土調査、河川、都市計画
治水・砂防、国道・県道

上下水道計画・整備・管理・運営
下水道計画・整備・管理・運営
浄化槽

会計事務、決算
現金・財産の記録管理

議会

監査

教育委員会庶務、奨学金
教職員人事、学校給食

社会教育、社会体育
海洋センター、人権教育

放課後支援
子育て支援センター
青少年健全育成

保育園

特別職	2名
一般職	88名
県派遣職員	1名

職員人事異動

住民福祉課課長
兼子ども家庭センター長
(住民福祉課課長)

佐野 学

令和六年度退職者及び令和七年四月一日付の異動者の紹介をします。

令和七年三月三十一日付退職者

住民福祉課

こども家庭センター長

松尾 典子

教育委員会上松保育園長

牧野 由起子

令和七年四月一日付異動

新職(旧職)

氏名

勤務延長型特例任用産業観光課課長(産業観光課課長)

横井 実

企画財政課課長
兼企画政策係長
(企画財政課課長)

井向 昭

産業観光課農務係

(産業観光課農務係)

宮下 恵美

教育委員会子育て支援センター保育士(教育委員会上松保育園保育士)

三浦 美佳

産業観光課農務係

(産業観光課農務係)

橋本 淳

長野県市町村振興組合派遣(企画財政課税務係)

倉上 貴成

総務課総務係

(建設水道課上下水道係)

野尻 彩乃

長野県地域振興局企画振興課派遣(産業観光課農務係)

柳沢 航平

産業観光課農務係

(産業観光課農務係)

西村 武美

県研修派遣職員

総務課付

下野 武蔵

産業観光課農務係

平沢 和之

再任用職員

教育委員会子育て支援係

原 浩志

令和七年四月一日付新規採用

住民福祉課保健衛生係

雪本 巳津子

議会事務局兼監査事務局

上田 裕昭

住民福祉課保健衛生係

小林 あいり

住民福祉課保健衛生係

松尾 典子

離任された先生

児童・生徒がお世話になりました
ありがとうございました () は赴任先

上松小学校

教頭

(駒ヶ根市立 赤穂小学校)

中山 亮

(南木曾町立 南木曾中学校)

栄養士

原 咲世

わかば担任

金山 幸子

(退職)

五年生担任

三浦 伸行

(木島平村立 木島平小学校)

二年生担任

根岸 萌香

(退職)

六年生担任

水川 弘美

(木曾町立 開田小学校)

音楽・家庭科
由井 日菜子
(松本市立 明善小学校)

支援員
和田 雅美
(退職)

支援員
竹内 幸子
(退職)

支援員
桶野 留美
(退職)

上松中学校
一年生担任 原 茉莉弥
(南木曾町立 南木曾中学校)

二年生副担任 大坪 孝一
(南木曾町立 南木曾中学校)

三年生副担任 古野 仁司
(木曾町立 日義小中学校)

*新しく赴任されて来られた
先生方の紹介は次号で行
います

令和7年度 上松町職員地区担当表

地区担当職員の主な役割は、①地区と町（行政）との相談窓口、②各地区の町への意見・要望の関係部署等への取り次ぎ及び連絡調整を担います。

今年度の各地区の地区担当職員は以下のとおりです。どんなことでもご相談下さい。スピード感と責任を持った対応を心掛けて参ります。

地区	行政区	担 当 職 員 (責任者)	地区	行政区	担 当 職 員 (責任者)
1	上旭町	三浦 香代 笹川 将人	4	小田野	藤原 真 大澤日出亜輝
	下旭町	荒岡 秀幸 原 浩志		西 中	西村 武美 織田 隼人
	上 町	高橋 健二 池田 祐也 小林あいり		台	古田 誠一 萱野 充
	上瀬木	下起 淳 織田 藍 下野 武蔵		西 奥	花川あづま 村上 仁勇
	下瀬木	山田 悠介 三田 陽介	3	東 奥	大畑 真樹 板野 将也
	本 町	山本 仁 根井 大輔		東里1	松尾 典子 曾我 友啓
2	中 町	下起 真紀 脇田 拓実		東里2	上田 裕昭 樋田 真知
	沖田町	古瀬 全 芝波田衿花		東里3	佐々木 剛 山口まどか
	常盤町	生駒 俊介 柳澤 亜耶	5	北見帰	伊藤 綾乃 橋本 淳 (倉上 貴成)
	下 町	若井 裕一 田上 幸伸		南見帰	狭場 敦 橋本 珠貴 (渡辺 理菜)
3	観 音	上小路俊征 花戸 駿		寝覚1	見浦 崇 伝村恵美子 人形 美佑
2	田 方	織田 浩市 岡部 里美		寝覚2	佐野 学 上田 友葵 (浅井 千花)
	正 島	岩井 歩美 三浦 美佳		寝覚3	上小路真寿美 浅井 翼 (柳澤 航平)
3	北栄町	伊藤 健次 宮下 恵美 佐々木麻緒		吉 野	古瀬 拓郎 三浦 大育
	南栄町	太田 美雪 合戸 友香 (藤原陽一郎)	6	小 野	横内 義広 雪本巳津子 寺坂 瑞希
	宮 前	横井 実 野尻ひとみ 越 果歩		荻 原	奥谷めぐみ 古谷 峻
1	北上条	瀬脇 美香 奥谷 智之		立 町	三浦 智司 野尻 彩乃
	南上条	井向 昭 小椋絵理香		倉本上条	大平 直己 木下のぞみ 高橋彩希衣
4	島	原 篤之 中島奈未子		倉本下条	三浦 敦巳 横内あおい

上松町長就任挨拶

町長 村田 広司

一月末に副町長を退任し、四月五日付で町長として就任を致しました。副町長時代は皆さんに支えていただいた事に感謝申し上げます。

無投票という結果ではございましたが、再び皆さんとまちづくりに取り組む機会を頂いた事をうれしく思います。

今回の選挙を通して、町中をくまなく歩く機会がありました。

その中で、役場の中だけに居ては分からない色々なお話を聞き、色々と感じる場所がありました。

改めて感じた事の一つ目は、住民の皆さんの生活や環境の事です。

空き家が多く、高齢者だけの世帯が多い（これは山間地域ばかりでなく町中も同様です）、遊休農地・荒廃農地が大変目立つという事で、地域の守り手が大きく不足していることを改めて実感しました。

二つ目は、住民皆さんの心の事です。

寂しいよ、いい町にしてくれよという声を多く聞きました。

話し相手がいなくてつまらない、集まってお茶を飲んだりする場所がない、場所があってもそこまで行けない等々、行政への期待を大きく感じました。

今はまだ何とかなっていますが、五年後、十年後にはこの町はどうなっているのかと言う、大きな危機感を持っています。

そのうえで、どういう町を作りたいかという事です。

このままの状況が続いて行くと、生活の利便性の低下や生活環境の悪化、地域コミュニティの力が低下し、若い人の転出が増え、それに伴い出生数が減少し、更に人口が減少するという負のスパイラルがどんどん進んでいきます。

これをどこかで断ち切る必要があります。

私は、行政の最大の使命は、住んでいる人が、「ここに住んでよかった」と思えるように、幸福度を高めることだと思っています。

コミュニティの担い手が減少し、生活の利便性が低下する中で、一人一人の人がここで心豊かに暮らすために、生活や心の満足度を高め、「幸せを実感できるまちづくり」を進めたいと考えています。

もう一つは、町の資源の積極活用と地域内経済の好循環構造への転換と言う事です。本曾は、上松は、何もない

という人がいますが、きれいな空気があり、きれいな水があり、豊かな森林資源があります。また、赤沢や寝覚の他に、西の谷から見た中央アルプスのロケーションのような魅力的な観光資源があります。

視点を変えれば空き家だつて資源ですし、使っていない荒れた農地だつて資源です。穏やかな町の人の人柄も立派な資源です。

まちづくりは経済政策でもありますが、有効に使っていないこれらの資源を積極的に活用しながら、外貨を取り込み、地域内で循環させて、未来につながる持続可能なまちづくりを目指したいと考えています。

では具体的にどうしていくのか。端的に言うと、行政の目指すべき姿を「住民の幸福感を向上させる」と言う所において、各種施策はそこからブレイクダウン・関連付けをさせていきたいと思っています。それが、住みやすいまちづくりにつながり、ひいては移住・定住を含めた人口減少対策にもつながってくると思います。

具体的には何にどのような取り組みかは、改めて発信します。

財政的には厳しい状況ではありますが、大屋町長と共に着手したものを完成させると共に、皆さんと一緒に、近隣町村、広域的な連携を含め、新たな視点をもって課題の解決やまちづくりに取り組んでまいります。

就任式の際に、共にまちづくりに取り組む町職員の方達にお願ひした事があります。一つは、挨拶・声かけをしてくださいと言う事です。

挨拶は、「あなたに興味を持っています、あなたを認識していますよ」と言う事の現れです。

役場の雰囲気が何か変わったなどと言われるよう、役場にきた人には声をかける、全職員が意識して声をかける事を行っていきます。

二つ目は、自分の地域の中で地域の事に積極的にかかわりを持つていつて頂きたいと言う事です。



役場職員は何のために存在しているか・それは住民のために存在しています。

町職員が、地域のコミュニケーションを支えることに積極的に関与し、自分にできる事を積極的に行う、地域の担い手としてあつてほしいと思います。

三つ目は、御神木祭への全面協力をお願いします。

六月三日の伊勢神宮御杣始祭に引き続き、四日・五日と御神木祭が開催されます。

二十一年に一度の国家的な行事でもあり、全国から注目を集める祭りです。

現在奉賛会を中心に他町村も一緒に準備を進めています。お祭りを成功させ、外からみえる人をもてなすために、役場を挙げて取り組みます。

終わりになりますが、私が普段心においている言葉に、「自未得度先度他」というものがあります。

これは、曹洞宗の開祖の道元禅師の言葉で、「自らはいまだ彼岸に渡っていないくても（悟りを得ていなくても）、他

の人を先に渡してあげましょう。そういう心を持てば、あなたが彼岸に渡った（悟りを得たと）と同じ事だよ」といったような意味ですが、私は、「自分が自分ではなく、常に他の人を思いやる心を持って行動しましょうね。そうすれば、みんなが幸せになれるよ」と理解しています。

私は、飛び抜けた能力を持つていないわけでもなく、どんな人間かは町職員をはじめとする皆さんの方が良く分かっていると思います。

でも、町のリーダーという立場になったからには、その自覚をしつかり持つて、住民の幸せのために邁進する覚悟です。

言葉は足りませんが、就任に当たって、思っていることの一端を話させていただきました。皆さんと一緒に、住民が幸せを実感できる町を作っていきます。四年間よろしく願います。

令和七年四月七日

上松町長選挙結果

任期満了に伴う3月23日（日）執行の上松町長選挙につきましては、届出のあった候補者が1人であったため、公職選挙法第100条第4項の規定により無投票となりました。任期は、令和7年4月5日から4年間となります。

当選人 村田 広司

退任あいさつ 二期八年を振り返ってー 前町長 大屋 誠

歳月の流れは早いもので、平成29年3月に執行された選挙により上松町長に就任して以来、8年が経ちました。昨年12月議会で二期目の任期末を以って町長を退任することを表明し、この4月4日で退任させていただきました。

就任以来、町民の皆さんの負託を受けて務めさせていただいたことに心より厚く御礼申し上げます。

上松町の100年の歴史において私は16代目の町長となりますが、これまで務めてきた皆様は、すべて町三役や町議会議員経験者であり、町の隅々まで熟知されている時代のリーダーでした。

県職員としての行政経験はあるものの、職員の顔も町民の皆さんの顔も初めて会う方も多く、恐らく職員も、町民の皆さんも「今度の町長は何をやるんだ

ろう？」と思った方も多かったのではないのでしょうか。

私自身も選挙に当たっては公約を掲げたものの、いざ具体的に「何から手を付けたらいいんだろう」、「何ができるんだろう」と不安いっぱいの就任当初であったと思います。

その頃の一番の思い出としては、職員から「町長、庁舎建設はどうするんですか」と椅子を温める間もない就任直後に云われ決断を迫られました。国からの支援を受けるには申請期限が迫っており、早急に進めないと間に合わないとのことでした。基金の積み上げはあるものの財政的な状況をヒアリングすると国の支援を受けない場合、単純計算約10億円事業として考えると、30年先、40年先になってしまふと考えました。

当時の旧庁舎の町長室は、J Rの列車が少し距離のある上松駅を通過すると床が揺れて驚いて職員の執務室まであわてて出て行って「今地震が来なかった？」と聞くと職員は「???」という顔をしていたのを思い出します。

建物の耐震診断について聞くと、建築から70年経過しておりコンクリも劣化しているので調査をやるまでもないとの回答がありました。また前年に起きた熊本地震により八代市の庁舎が一階部分を押しつぶして崩壊したということが起き、国が初めて庁舎改築に支援をする制度を立ち上げており、そのような状況もあり、庁舎建設が一番初めての大きな決断となったのを覚えています。

私は自ら町の行政情報や地域の明るい話題を取り上げて発信することに取り組むことも公約の実現の一つとして考えブログを立ち上げました。情報発信の手立てには今はSNSやLINEなど当たり前となっていますが、その頃の私はブログなるものの知識も無く、どういうもの？どうやればいいの？など、分からないだらけからのスタートでした。

「日記のようなもの、毎日アップすることが重要ですよ」などのアドバイスを受けてのスタートでしたが、小学校の夏休みの時に日記を付けるという宿題がありましたが、それさえも休みの終盤の3日前く

らいにあの日の天気は？など思い出しながら追い込みをしていたトラウマがあり不安一杯で始めました。

“あげまつ彩時記”と名付けたブログは長野県で有名な「ナガブロ」のグループの中にありますが、幸い現在（3月末）まで続いており、ナガブロ2万763のこのブログ中35位（3月21日現在）、今まで閲覧していただいた件数は延べ23万4千に及んでおり、毎日更新される数字が励みになっていました。私が人生の中で一番続いた取り組み？こと？であったと思います。

そのブログには読んだ方からのコメントが寄せられ、それも励みになりました。平成29年10月に行われた伊勢神宮斧入れ式では伊勢に住んでいてブログをやっている方から「興味深く拝見させていただきました。多くの方に知ってもらうために勝手に記事を紹介させていただきました」という心温まる言葉もいただきました。また、いつもは一日平均100件前後の読者数ですが、この斧入れ式の記事には、いきなり一日で400件を優に超え、現在では2,077件と全記事中トップとなっており、さすがは“伊勢様”と感心しました。

平成29年6月30日にスタートしたブログの中で印象的な思い出深いものを写真入りと思い出のコメントも含めちょっとご紹介したいと思います。



2017年7月29日 上松っ子！甲子園へ 松商 井領くん甲子園出場

上松には大相撲の御嶽海関、プロレスラー“エイタ”、また、中学校フットサルの活躍など、他の町村の方がうらやむ若い力が躍動しました。

2019年4月29日 繋ぐ春祭り（若宮神社例祭）

上松には獅子神楽、装束も鮮やか、そして勇壮な太々神楽などが伝えられています。この年の若宮神社の祭礼は町無形文化財獅子狂言“葛の葉”を継承していた小林さんが急逝し、それを若い人に伝えていく意味で忘れられないお祭りとなりました。それぞれのお祭りで氏子の皆さんと酌み交わした美味しいお酒の味が忘れられません。



2019年6月4日 地区行政懇談会始まる。（写真は倉本、立町、荻原地区）

お声をかけていただいた地区に職員ともども出かけてお話を聞く貴重な機会となりました。参加していただいた皆様ありがとうございました。

2020年2月4日 上松町新庁舎建設工事安全祈願祭

この日からいよいよ建設工事が始まりました。



上松町新庁舎竣工式 式典



2021年4月26日 役場新庁舎竣工式

待ちに待った新庁舎の竣工式が行われました。翌日、ヒノキの香りが包む庁舎を来庁された町民の皆さんにお披露目されました。

2021年8月20日 避難指示解除、断水復旧

宮戸沢土石流により断水していた立町、倉本地区の断水が仮復旧しました。復旧作業に終日当たっていただいた建設業者の皆さん、給水作業に一軒、一軒重いポリタンクを運んでくれた職員、そして励ましの言葉をいただいた地元住民の皆さんに心から感謝です。



2022年1月31日 ワクチン接種の是非

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて始まったワクチン接種について話題としました。故大脇先生や芦沢先生、木曽病院の先生のご協力を得ました。足掛け四年余りの長い戦いでした。



2022年11月7日 町政施行100周年記念式典

11月3日に行われた後藤経済再生担当大臣他多くのご来賓を迎えた記念式典となりました。また、これを記念して駅伝大会がスタートしました。まさしく歴史のタスキをつなぐイベントとなりました。



たくさんありすぎて、ご紹介出来ない記事はありますが、改めてこの八年間を振り返るといろいろあったと思います。なお、ブログ“あげまつ彩時記”は今後も少しずつアップして地域話題などお届けしたいと思っております。

この間、町民の皆様にご厚情に対し、お一人おひとりにお礼を申したいところですが、本紙面を以って代えさせていただきます。

私も、今後、一町民として上松のまちづくりに出来ることに協力してまいりたいと考えておりますので、その折にまたお会いできれば幸いです。

上松町の益々のご発展と皆様の更なるご活躍を祈念いたしましてお礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

令和六年度 小中学校卒業式・保育園卒園式

三月十八日（火）に上松小学校、三月十九日（水）に上松中学校で令和六年度卒業式が、三月二十一日（金）に上松保育園で令和六年度卒園式が行われました。

小学校では初めての、中学校では最後の学生服に袖を通して卒業生は一人ひとり礼儀正しく卒業証書を受け取り、在校生や先生、保護者の方達に拍手で送られました。

保育園では、牧野園長が一人ひとりに保育園での思い出を語りながら卒園証書を渡し、卒園児たちは小学生になったら頑張りたいことを大きな声で発表してくれました。

令和六年度は、園児二十人、小学生二十九人、中学生三十



人が卒業・卒園し、入学・入園した時よりも大きく立派に成長した姿を、保護者や先生方に見せて、新しい生活に向かって旅立ちました。

令和七年度 上松小学校・中学校入学式

四月四日（金）に上松小学校と中学校の入学式が行われました。

小学校の新一年生二十名は、ピカピカのランドセルを背負って、元氣よく登校しました。入学式では、在校生の歓迎の拍手で迎えられ、「一年生になったら」を一緒に歌いました。また、小学校の入学式に併せて、上松町交通安全協会から交通安全啓発品が贈られました。

中学校では、二十八名の新



高本校長先生からは「皆さんには上松中学校学校教育目標の『自ら学ぶ』ことと、『中学校は大人になるための場所である』ことの二つを胸に、充実した学校生活を送って欲しい」と話がありました。

小・中学校の新入生たちは、それぞれが大きな希望に胸を膨らませて、新生活のスタートを切りました。

大相撲 令和 7 年 3 月場所 (春場所) 御嶽海関の成績

東前頭十七枚目 6 勝 9 敗

大相撲令和 7 年 3 月場所が、令和 7 年 3 月 9 日から 23 日まで大阪府エディオンアリーナ大阪で開催されました。中々勝ち越しを挙げることができず、悔しい思いをしている御嶽海関。初日は黒星でしたが 2 日目と 3 日目は白星を挙げこのまま勢いに乗りたい御嶽海関。6 日目に 4 勝目を挙げ勝ち越しが見えてきましたが、7 日目から 5 連敗。12 日目に白星を挙げ勝ち越しを狙いましたが、惜しくも負け越しとなりました。この悔しさをバネにして、来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

頑張れ！御嶽海関

1 日 目	前頭十六枚目	琴 勝 峰	●	小手投げ
2 日 目	前頭十八枚目	時 疾 風	○	寄り切り
3 日 目	前頭十七枚目	白 熊	○	上手投げ
4 日 目	前頭十五枚目	安 青 錦	●	押し出し
5 日 目	十両二枚目	嘉 陽	○	寄り切り
6 日 目	前頭十六枚目	朝 紅 龍	○	寄り切り
7 日 目	前頭十五枚目	佐田の海	●	寄り切り
中 日	前頭十四枚目	美 ノ 海	●	叩き込み
9 日 目	前頭十四枚目	竜 電	●	寄り切り
10 日 目	前頭十三枚目	獅 司	●	上手投げ
11 日 目	前頭十二枚目	阿 武 剋	●	寄り倒し
12 日 目	前頭十二枚目	宝 富 士	○	突き落とし
13 日 目	前頭十枚目	錦 木	○	寄り切り
14 日 目	前頭十一枚目	明 生	●	寄り切り
千 秋 楽	前頭十一枚目	翠 富 士	●	肩透かし

令和 6 年度電源立地地域対策交付金事業 上松町公民館運営事業、上松町保育園運営事業

◆電源立地地域対策交付金事業

私たちの生活を支える電気は、発電所が立地する地域で作られ、消費地まで送られています。

発電所のある地域は「電源地域」いわば「電気のふるさと」です。

電源立地地域対策交付金は、電気の安定供給に大きな役割を担っている電源地域における地域振興や住民の福祉向上のための事業に対して国から交付されており、現在は、公共用施設整備などのハード事業に加え、福祉サービス等のソフト事業も交付金対象事業となっています。

上松町では令和 6 年度電源立地地域対策交付金を活用し、公民館と保育園の職員人件費への充当を実施しました。

(1) 上松町公民館運営事業

○内容・実績：公民館職員 4 名の人件費 7 か月分 ○交付金活用額： 7,115,000 円

(2) 保育園運営事業

○内容・実績：保育園職員 7 名の人件費 7 か月分 ○交付金活用額： 10,000,000 円

地域おこし 協力隊だより

新規採用隊員紹介

地域おこし協力隊とは、総務省が行っている事業で、地方が都市からの住民を受け入れ、一定期間地域に居住し、各種地域協力活動に従事しながら地域への定住・定着を促進することで、地域力の維持や強化を図ることを目的としています。

町では、本年度新たに五名の「地域おこし協力隊」を採用しました。それぞれ、木工振興業務、移住定住業務、生涯学習業務に取り組んでいただきます。

【尾上 季里子 隊員】



した。

これまで関西の保育園やドイツの森の幼稚園で保育士として勤務して参りました。その中でも森の幼稚園での経験が私の保育のベースとなっています。

上松町の皆さん、はじめまして。
この四月より地域おこし協力隊（生涯学習支援担当）となりました尾上季里子と申します。

この自然豊かな場所でも、子どもたちを中心に五感に響く活動を提案していきたくと思っています。

お願いします。

木曾の自然に魅力を感じ、関西より家族で移住してきま

【尾上 一生 隊員】



上松町の皆さん、初めまして。兵庫県神戸市出身の尾上一生と申します。この四月より地域おこし協力隊の木工振興に関する業務と、生涯学習に関する業務に携えることに

なりました。神戸では障害福祉の就労支援の職員をしていて、主にベンガラ染めの先生をしていました。昨年度、上松技術専門校で木工技術を学び、今年の春卒業しました。

催や、魅力のある木工品の開発等、この町の特徴を活かした取り組みをしていきたいと思っています。

上松町では移住定住担当として移住を検討している方の誘致や移住者へのケア、また将来的に上松町の子どものために上松町にUターンしてくるような取り組みを行っていきたくと考えております。

僕がこの町に関わった事によって、上松町に少しでも多くの人達が訪れるようになるよう精進して参りたいと思っています。これから町民の皆さんには色々とお世話になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【関口 塁 隊員】



出身は長野市ですが高校卒業後に上京して長らくミュージシャンとして活動していました。こう見えてたまにテレビとかに出てたんですよ？（笑）

上松町では移住定住担当として移住を検討している方の誘致や移住者へのケア、また将来的に上松町の子どものために上松町にUターンしてくるような取り組みを行っていきたくと考えております。

上松町の皆さん、初めまして。四月より地域おこし協力隊に就任いたしました、関口塁と申します。野球の一塁、二塁の塁と覚えてください！でも野球は詳しくないの

一見、熊みたいで話しかけづらいですがお喋りが大好きな温和な熊なので安心してください。趣味はサッカー観戦です！基本的に川崎フロンターレとアーセナル、あと出身である長野パルセイロを陰ながら応援しています。

まだまだ至らないところがありますが皆さんどうぞよろしくお願い致します。

で野球の話は出来ません。

もっとも上松町や皆さんの事を知りたいので、見

【倉持 海音 隊員】
くらもち うみと



上松町のみなさん、はじめまして。この四月より地域おこし協力隊となりました倉持海音と申します。

栃木県出身で、大学卒業後は林業関係で山林調査の仕事を三年間、その後一昨年までは木製の食器などを作る仕事に七年間携わっていました。昨年度、上松技術専門学校への入校をきっかけに移住し、この度ご縁があり協力隊の木工部として活動させていただくこととなりました。

上松町のさまざまな魅力がある中でも、私は「木曽檜」と「上松技専」をはじめとした林業・木工産業の歴史にとっても敬意を抱いています。私の移住のきっかけでもあります。私の移住のきっかけでもあります。私の移住のきっかけでもあります。親しみを感じ、上松町と木工の深いつながりを大切にされている心

に触れたように思いました。

メインの業務は、ふるさと納税返礼品を作って町外の方々に情報発信をすることと木工体験などのイベントを開催することです。

また、公民館や学校など地域のみなさんが集う施設に温かみのある家具を作らせていただいて、「木のものって良いよね」と感じてもらいたいと思っています。居心地よく過ごしやすい場所づくりのお手伝いができたら嬉しいので、「町の中にこんな木のものがあつたらいいな」というお話を聞かせていただきたいと思います。

趣味は山登り、溪流えさ釣り、ソフトテニスです。最近はまだあまりできていませんが、暖かくなってきた頃に再開したいです。

まだまだ上松町について知らないことばかりなので、みなさんからアドバイスをいただきながら、まずは地域の生活に慣れるところから始めていければと思っています。よろしくお願いいたします。

【永澤 馨 隊員】
ながさわ かおる



上松町のみなさん初めまして。この四月から地域おこし協力隊となりました永澤馨と申します。所属は木工部です。趣味は筋トレで、成人式までにムキムキになりたいです。猫好きです。よろしくお願いします。

上松技術専門学校を卒業して協力隊員になりました。まだわからないことが沢山ありますが、上松技専で学んだことを活かして、上松地域にあつた工芸品を作ろうと考えています。

具体的にはろくろ細工で作ったコップや器などの身近なものを作っていこうと考えています。猫の餌バチや水飲みなどの器なども作っていければと思います。最終的には上松を代表する工芸品を作りたいです。

いす。

少しでも上松町の魅力を他の地域に伝えていけるように努力していきたいと思っています。それと小中学生に木工を触れてもらうために、椅子作りの体験会を開こうと考えています。少しでも木工に興味を持ったり楽しいと感じて貰えれば嬉しいですが、小学生は怪我が怖いので簡単な作業しかできないかもしれません。中学生には金槌で釘を打ったり鋸で木を切ったりできると思います。安全に実施するためにこれからしっかりと注意事項などを決めていきます。一番は怪我がなく安全に楽しく作業ができるようにしたいです。

まだまだ未熟者ですが、三年間よろしく願います。

健康増進センター11シートーク・・・健康とデータ 105

【テーマ：今年度の健診・がん検診始まります！】



男性：2位 女性：7位 (R5年度)



美林ちゃん (美)



太郎ちゃん (太)

美：今年度の健診、太郎ちゃんはいつ受けるの？もう決めた？

太：毎年健診健診って、美林ちゃんも飽きずに言うよね…

美：それはそうよ！だって、自分の健康を守るためにすごく大事なことからね！

カ：素晴らしい！！

美：あら、カメさん聞いてたのね！

カ：自分の体の状態って、意外と自分では気づけないからね。

健診を受けることで、自分の生活習慣を見直す良い機会になってるよ！

美：太郎ちゃんには、カメさんを見習ってほしいわ。

太：分かったよ…ちゃんと受けるね！

みなさんは、毎年健診を受けていますか？今年度どこで受けるか決まっていなかった方もいるでしょうか？

上松町では、40～74歳の国保特定健診や、75歳以上の方の後期高齢者健診も実施しています。以下にある複数の受診方法から、ご自身にあった健診方法をお選びください。

【国保特定健診】

①町の集団健診：5月8日（木）・9日（金）（11月、令和8年1月にもあります。）

②個別健診：木曽病院、芦沢医院 ③人間ドック ④ 職場健診

【後期高齢者健診】

①町の集団健診：5月7日（水）～9日（金）（11月、令和8年1月にもあります。）

***集団健診では、がん検診も同時受診できます！詳細はお問い合わせください。**

②個別健診：かかりつけ医に受診できるか相談していただき、健診日が決まったら福祉係（52-5550）にご連絡ください。

③人間ドック

今回のデータは、令和5年度国保特定健診のメタボ該当者の順位です。

県内市町村の中で、男性は2位、女性は7位でした。男女共にメタボの割合が多い状態です。

男性は、平成30年度以降の各年度の状況を見ても、順位が4位以上であり、メタボが改善されていない方が一定数いると感じています。

まずは、健診を受けていただくことが第一歩です。その第一歩が踏み出せた方は、ぜひ自分の健康のため、生活習慣を整えることを意識してみてはいかがでしょうか。

上松町役場 保健衛生係（52-2825）

戸籍の窓

三月（敬称略）

おすすめ

井領 空央 大輔 美優 吉野

ごめいふくをお祈りします

上小路 武夫 89歳 西中

新田 丹保子 90歳 倉本上条

荻野 喜一郎 85歳 東里2

下野 郁子 82歳 上瀬木

古田 澄子 91歳 北見婦

古瀬 正子 72歳 東里1

田下 貞子 93歳 田方

中野 義人 74歳 東奥

高橋 清 79歳 島

徳原 トヨ 92歳 東里1

山内 知明 89歳 寝覚1

梅本 裕子 70歳 南栄町

※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。